

## 平成26年度 財団せせらぎ 助成金使用報告書

所属	社会福祉法人ケアネット	職名	施設長・理事	助成金額	500,000 円
氏名	鈴木 靖夫	メールアドレス	y.suzuki@yayoi-home.com		
研究課題（申請書に記入した内容を記入すること。）					
社会福祉施設運営における、災害時二次避難所運営の方法について					
助成金使用実績の概要（日本語で記入すること。図・グラフ等の記載は必須ではない。）					
<p>1. 実績の要旨</p> <p>本法人で運営する、特別養護老人ホームは東京都中野区で2か所あり、自治体である中野区と協議の結果、災害の際避難所に避難した、要援護者を二次避難所として受け入れることとしました。</p> <p>東京都 23 区内で、実際に二次避難所として事業を運営したところのある法人はほとんどありませんが、本法人も東日本大震災の際に、数名の方を一時的にお泊めするなどの対応はしており、今後予想される 23 区内の災害に向けて、通常の施設運営を行いつつ、二次避難所の円滑な運営ができるような仕組みを研究していきたいと考えています。二次避難所としてのマニュアルなども策定されていない中で、区と共同で、BCP の改定、マニュアルの策定を行うことができた。</p> <p>2. 二次避難所開設訓練の実施、総合防災訓練の参加</p> <p>■二次避難所開設訓練 平成 27 年 9 月 12 日 二次避難所開設訓練を実施する。</p> <p>9 月 11 日に避難訓練を実施し、その後、12 日にはその後中野区から連絡が来た設定で、連絡を実施する。</p> <p>その後、中野区より職員が来たこととし、机上訓練にて平成 25 年 11 月 24 日におたきほうむにて中野区と実施したものをベースにやよいほうむ内での展開をシミュレーションする。（やよいほうむ相談室にて、防災演習として HUG 使用）</p> <p>■総合防災訓練 平成 26 年 11 月 9 日 日曜日 午前 9 時～11 時 中野区立桃二小学校にて、中野区南部の総合防災訓練を実施。</p> <p>それに職員 2 名が参加し、身体障害者などの方と共同で、避難所での障害者や高齢者の誘導についての周知を実施。（障害者支援のためのふれあい体験の一環として）</p> <p>ただし、当日は雨天のため、階段で 2 階に上がる体育館を使用したため、身体障害の方には不在。</p> <p>集まった方の前で、中野区介護サービス事業所連絡会、福祉団体連合会とともに、アピールを行う。</p> <p>3. 二次避難所運営計画の作成</p> <p>中野区より、二次避難所運営計画が示されていないため、独自の二次避難所運営計画を策定する。</p> <p>資料として別途添付する。その後、平成 27 年 8 月 12 日に中野区策定の二次避難所運営マニュアルが示されたため、運営をそれに沿って行うことに変更した。</p> <p>4. まとめ</p> <p>特別養護老人ホームにおける二次避難所開設をシミュレートした際、すでに入居されている全介助の方を多く収容している中で、さらに二次避難所として多くの方を受け入れる場合の課題は、1、人員の確保、2、本当に必要な方へのトリアージがある、1については、併設事業の人員や近隣で事業所を展開している事業所より人員の確保をするようにしておくこと。2 番目には、デイ利用中など併設事業利用中の方も含めて、区職員とともにトリアージを実施することであろう。ただし、上記の件については、通所介護利用者などを含めて、近隣住民と関係を作り、きちんと説明できる体制を作っていないと、軽度者のみで埋まってしまう可能性もあり、関係性が重要になってくると思われる。</p>					
助成金を使用した成果に関する発表（インターネットに公表されている場合は URL を記載すること。）					
発表者氏名 (著者・講演者)	発表課題名 (著書名・演題)	発表学術誌名 (著書発行所・講演学会)	学術誌発行年月 (著書発行年月・講演年月)		
	現在のところ、予定はありません。				